

日本列島とその周辺における第四紀古環境復元

関連するSDGsの国際目標



環境科学部 環境生態学科 准教授 堂満 華子

研究分野 : 古環境学、微古生物学（浮遊性有孔虫）

研究室HP : <http://des-usp.com/staff/laboratory-of-paleoenvironmental-evolution.php>

地球の過去のような“古環境”を明らかにする研究に取り組んでいます。地球の環境はどのように移り変わってきたのでしょうか。そしてその背景にはどのようなメカニズムがあったのでしょうか。その答えが将来の地球環境変動を予測するためのヒントとなるかもしれません。古環境を復元するために、海底や湖底にふり積もった堆積物やそれに含まれる“微化石”の群集解析・安定同位体比分析をおこない、堆積物に記録された古環境情報の解読を試みています。

■日本列島周辺海域における第四紀古海洋復元に関する研究

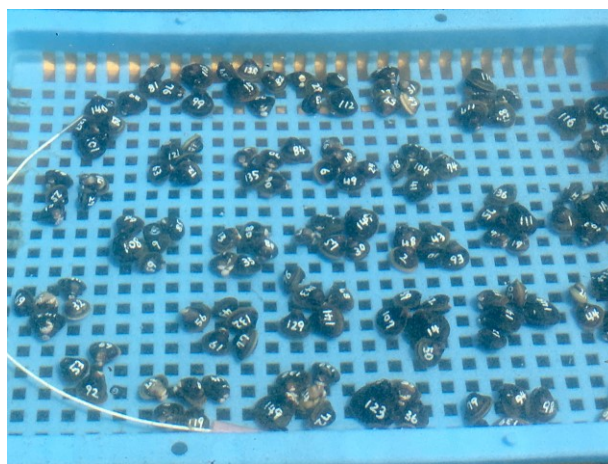
海底コア試料に含まれる浮遊性有孔虫化石を分析し、日本列島周辺海域における表層水環境の成立過程を調べています。



海底堆積物から拾い出した浮遊性有孔虫化石

■琵琶湖固有種セタシジミを用いた古環境復元手法の開発に関する研究

セタシジミ殻の古環境指標としての有用性を検証するため、セタシジミの殻構造を調べています。



セタシジミの飼育実験のようす